

ボラとマスク - マスクでつなぐ、栃尾を紡ぐ -

「買い物に行く時などに付けて街に出たい」と栃尾ワークスの利用者さん(写真右、中央)と五十嵐施設長(写真左)

手作りマスク2枚に絵手紙を添えて寄贈いたしました



株式会社ソフィーナ様より高品質の生地を寄贈いただきました

とち絵手紙の会からマスクに添える絵手紙を提供いただきました

栃尾産・手作りマスク寄贈

とちおボランティア連絡協議会では、今回の新型コロナウイルスによるマスク不足に対して、「今できることをやるねっか」という会員の声から始まり、株式会社ソフィーナととちお絵手紙の会から協力いただき、栃尾ワークスの利用者の皆さんに手作りマスクを寄贈しました。

マスクは同協議会の22名の有志の会員がそれぞれ自宅にて製作。絵手紙を添えて栃尾ワークス五十嵐施設長と利用者の方に手渡しました。
「マスクが品薄の中、これからの季節でも使える生地のマスクをいただいで嬉しです。ありがたく使わせていただきます。」
と喜んでいただきました。

会えなくても、つながれる

これまで顔が見えるつながりの中で行われてきたボランティア活動は、人とつながりにくい今だからこそ「できることを、できる形で」想像し、取り組んでいくことが望まれています。
身の回りの困っている方を気に掛けてみる。離れている家族や仲間へ意識的に連絡を取ってみる。これを機にボランティアや関心のある分野について調べてみる。
今、すぐ行動に繋がらなくても、一緒に、地域や大切な人とのかわり方を見直してみませんか。

会 員
募 集 中

とちおボラ連の活動

とちおボランティア連絡協議会は、ボランティアグループの相互の情報共有や交流等を通し、栃尾地域のボランティア活動と地域福祉の活性化を図るために設立された協議会です。現在、手話や施設訪問、手芸、運転送迎、家事のお手伝い、親子交流活動等の12団体が加入しており、個人ボランティアとして加入されている方も併せて、約120名の会員から加入いただいています。加入会員の年齢層は20代から80代まで幅広い一方、年々高齢化

【主な活動内容】

- ボランティア文化祭の開催
- リーダー研修会の開催
- 活動講演会の開催
- ボランティアの集いの開催
- その他、県内の福祉イベントや長岡市ボランティア連絡協議会開催の各種研修会等への参加

が進んでおり、同協議会の更なる活性化のため、会員を募集しております。
興味のある方は事務局(社協栃尾支所)までお問い合わせください。



ボラのカタチ フェイスシールドを寄贈 ～栃尾JC・栃尾高校～

栃尾青年会議所(以下、栃尾JC)と栃尾高校は、新型コロナウイルスから高齢者を守ろうと、フェイスシールドを共同で100枚製作し、社協栃尾支所を通じ、栃尾地区内の高齢者入所施設に寄贈しました。

この取り組みは栃尾JCが、同校に呼びかけ実現したもので、工業、福祉、家庭等、専門科目を受講する3年生を中心に、授業のほか、放課後を活用し、作製したものです。

寄贈をした生徒からは、「ぜひ活用してもらい、安全に仕事をしていただきたい」「このフェイスシールドが感染予防に役立てば」と話してくれました。

